



＜児童の実態＞

- 学力面では、国語、算数とも全国平均を上回っている。
(R2.3 実施のNRT結果：偏差値平均(M) 国語 52.7 算数 53.9)
- 授業にまじめに取り組むが、主体的に学ぶ態度を一層身に付ける必要がある。
- 体格・体力ともにほぼ全国平均であるが、筋持久力に課題がある。
- 男女仲がよく、素直な子どもが多い。下級生の面倒をよく見る伝統がある。

教育目標

主体的・協働的に学び、心豊かな
「かしこく、強く、明るい子」の育成

- 自ら学び、考え、行動する子ども
- 健康でねばり強い子ども
- 明るく、思いやりのある子ども

＜目標とする学校像＞

目標を持って取り組み、
その成果を実感できる学校（児童も、教師も）

＜学校経営の基本＞

- これから求められる学力を身に付けることができる、一人一人の児童の成長に視点をおいた学校経営
- ともに考え、行動する学校経営
- 保護者や地域の方々の期待に応える学校経営

- 国語科・算数科の学力テスト偏差値1ポイントアップをめざす。
- アンダーアチーバー0（ゼロ）をめざす。

＜努力目標＞

- めあてを持ち、自主的に学ぼうとする子どもの育成

基礎・基本の定着を図る教育課程の工夫

- ① 一人一人がわかる授業を展開する。
 - 授業スタンダード、活用力育成シートの活用
 - 基礎的・基本的内容の明確化
 - 教科等横断的な指導計画の工夫
 - 知的好奇心を持ち、活用力や思考力を育てる場の設定
- ② 地域に根差した課題をもとにした、問題解決的な学習を推進する。
- ③ **読書活動を推進する（令和3年度）。**
 - 朝の読書 ○ 学校司書の積極的な活用
 - 図書館活用の日常化（授業との連動）
- ④ 基礎基本の定着の日常化を図る。
 - 日課表の工夫することによる時間の確保
- ⑤ 授業外の学習活動を充実させる。
 - 家庭学習スタンダードの自校化 ○ 朝の時間の活用

学級の特性を生かした授業の展開

- ① 課題提示の工夫をする。
 - 学習課題の明確化
 - 既習事項を生かした、解決の見通しの場の設定
- ② 個を生かす学習過程の工夫をする。
 - 学習形態の工夫
 - 学び方の習得
 - 一人一人に応じたきめ細かな指導の工夫
 - 互いに高め合うための工夫
 - 「伸び」が実感できる振り返りと確かめ
- ③ 評価の工夫をする。
 - 学習成果の自覚、学習内容の定着
 - 効果的なまとめ、評価方法の工夫
- ④ ユニバーサルデザインの視点を生かして授業を改善する。
 - 児童の認知傾向への着目

人間関係を深める学級づくり

- ① 一人一人のよさを認め合う集団づくりをする。
 - 個々のよさに気づき、ちがいを大切にする場の設定
 - 異学年交流活動の推進
 - 「合理的配慮」への理解（保護者にも）
- ② 児童の自主的な態度と自己肯定感を育てる。
 - 体験的な活動を通して、自分を生かす場・生きる場を設定（「勿来二フェスティバル」等）
 - 授業や行事における自主的な「めあて」の設定
- ③ 学習・生活習慣の確立を図る。
 - 基本的学習・生活習慣の育成
 - きちんと話を聞き、自分の考えをはっきり話すこと
 - 学習動機の醸成、学び合う集団づくり
 - 学年や教科の特性に応じた学習方法の習慣化
 - 小中連携を生かした学び方の指導、生徒指導の充実

教師の授業力の向上

- 現職教育等での校内研究を通して、授業改善を図る。
- 複数の視点から、「分かる授業」の一層の充実を図る。
- 教職員人事評価制度を活用し、教師も目標をもって自分を高める。
- 教師どうしの学び合い、OJTの活性化を図る。